

運輸部門のCO₂排出量削減のために

荒尾市では、市内事業者と協議会を設置し、連携して削減に向けて取り組んでいます！

ヤマト運輸 荒尾営業所



- 1 荒尾営業所に併設
玄関横に大小合わせ、17のロッカーを設置しています。
- 2 操作は簡単！
画面の指示に従って操作を行います。

宅配ロッカーや置き配ならCO₂削減とスムーズな荷物の受け取りが可能に！

荒尾営業所 所長 田中 義光さん



これまで荷物の届け先が不在の場合、複数回配達していましたが、近年は配達時の手間を省くだけでなく、CO₂排出量を抑えるためにも、再配達を減らす取り組みを進めています。24時間いつでも荷物を引き取れる宅配ロッカー「PUDO」を荒尾営業所に併設し、稼働率は100%を超えています。また、スマートフォンのアプリで簡単に操作できる登録制の「クロネコメンバーズ」では、昨年「置き配」の指定も可能になりました。玄関前など、希望の場所に荷物を置くため、対面で受け取る手間が省けると好評です。これからも、お客様にご満足いただけるサービスで、CO₂削減にも取り組みます。

エコドライブに配慮しEVの導入でCO₂削減再配達削減の取り組みも

郵便部長 本田 忠史さん



郵便局では、配達時のCO₂削減のためにEVへの切り替えを進め、現在は荒尾局でEVの軽自動車6台、二輪車11台が稼働中です。振動がなく、加速もスムーズで、局内でも好評です。また車両の緩やかな発達、エンジンブレーキの活用、交通状態に応じた定速走行など、エコドライブにも取り組んでいます。ほかにも再配達の削減のため、LINE公式アカウント「郵便局 ぽすくま」から配達日時・受取場所の変更ができ、3月からは希望の場所に荷物を置くための置き配バッグ「OITETTE」も荒尾局で販売予定です。今後も市と締結している包括連携協定に基づき、郵便局のネットワークと機動力を活かし、地域に寄り添った活動を続けていきます。

荒尾郵便局



- 1 可愛い「ぽすくま」が目印
市内だけでなく、全国でEV導入が進んでいます。
- 2 駐車場で充電可能！
ガソリンスタンドに行く手間が不要に。

二輪EVも活躍中！

カーボンニュートラルへの挑戦！

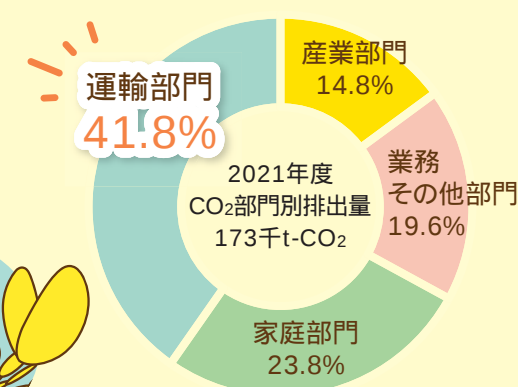
前は家庭でできる取り組みを教えてもらったね！



荒尾市の課題

荒尾市のCO₂排出量は運輸部門が最も高い！

本市の温室効果ガス排出量は、2021年度（令和3年度）は178千t-CO₂。うち、二酸化炭素排出量173千t-CO₂の部門別排出割合は、右のようになり、「運輸部門」が41.8%と大部分を占めています。この結果から、本市では特に「運輸部門」の取り組みを進めていく必要があります。



でも、運輸部門のお仕事のおかげで何かと便利になったこの時代に減らすことはできるのかな？

一人ひとりがあることに取り組むだけでCO₂排出を防ぐこともできるよ！



知っていますか？

再配達によるCO₂排出量が増加しています！

ネットショッピングの利用拡大による宅配便の増加に伴い、再配達件数も増加しています。

宅配数が増加し、年間約50億個が配達されています！

そのうち、再配達率 約10.2% 令和6年10月期
再配達によって排出されるCO₂ 約25.4万t！ 2020年 国交省推計

荷物を1回で受け取ることができていれば排出されなかったはずだから、削減できるんじゃないかな？

正解！



できるだけ1回で受け取ろう！

再配達を減らすためにできること



時間帯指定を活用してゆとりある日時を指定



宅配事業者が提供しているサービス（メール・アプリなど）の活用



コンビニ受取や宅配ロッカー、置き配など、多様な受取方法の活用



個人ですぐに組みあがるね！

私もアプリや置き配指定を活用してるよ！



各宅配事業者のサービスはこちら

ヤマト運輸アプリ

郵便局アプリ

佐川急便スマートクラブ

ヤマト運輸宅配便ロッカーPUDO

スマートタウンでも取り組んでいます！

地球温暖化対策に寄与する 環境配慮型（ZEB）店舗

再開発を進めているあらお海陽スマートタウンにオープンした「メガセンタートライアル荒尾店」は、トライアルグループ初となる環境に配慮したZEB認証を取得したストアです。ZEBとは、Net Zero Energy Buildingの略称で、快適な室内環境を実現しながら、建物で消費する年間の一次エネルギーの収支をゼロにすることを目指した建物のことです。

「メガセンタートライアル荒尾店」は断熱性能と省エネ性能に優れた設備によってエネルギー使用量を減らしながら、屋上には太陽光パネルを設置しエネルギーを作ること、環境にやさしい店舗づくりを進めています。



補助金を活用して取り組もう！

荒尾市にはみなさんが取り組みやすくなる
補助金もあるので、ぜひご活用ください！

詳細はこちら



荒尾市の補助金

太陽光発電

個人住宅：1kWあたり7万円
民間事業者：1kWあたり5万円

ZEH+

100万円 / 戸
「ZEH」の証書（BELS評価書）
を取得すること。

蓄電池

蓄電池システム価格の1/3
太陽光発電と一緒に導入する場合に限る

ZEH

55万円 / 戸
「ZEH」の証書（BELS評価書）
を取得すること。

荒尾市の補助金は自家消費型が対象となり固定価格買取制度は利用できません。

荒尾市の補助金実績
（令和4年～6年度分）

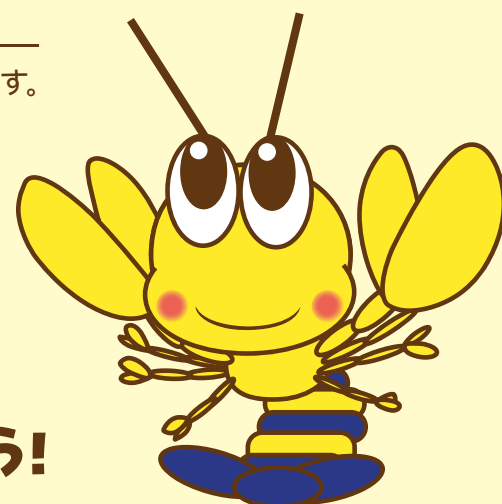
・太陽光発電（105件）1,158kW
・蓄電池（84件）823kWh

令和6年度の受付は終了しました。令和7年度は、5月受付開始予定です。

みんなでアクション！

再配達を減らしたり、
補助金を活用したり、
一人ひとりができることから始めてみよう！

81世帯の一般住宅、
24件の事業所が
太陽光発電を
導入しました！



荒尾市も

カーボンニュートラルに 取り組んでいます！

取り組み

1

水稻栽培時の
温室効果ガス発生を抑制

有明地区水利組合・NTTコミュニケーションズ㈱・荒尾市で連携し、水稻栽培時の温室効果ガス発生を抑制する取り組みを行いました。田んぼの水を抜く（中干し）期間を例年よりも延長することで地中で発生する温室効果ガスを減少させ、その温室効果ガスの削減分を価値化し、企業などに売買することで収益を得ることができる取り組みです。



取り組み

2

脱炭素支援システムを
市役所で試験導入

肥後銀行が開発したCO₂排出量算定システム（通称：炭削くん）を市役所で試験導入しました。このシステムは中小企業向けに低コストで利用でき、CO₂排出量算定の効率化と「見える化」により、脱炭素推進につながります。システムの利用効果を踏まえ、市内事業者への普及促進を図ります。



取り組み

3

有明エナジー（株）による
太陽光発電設備導入

市内唯一の地域新電力会社である有明エナジー（株）が、第一電材（株）に市内初となるPPA方式で太陽光発電設備を導入しました。そのほか、公共施設3施設、BAOO荒尾でも同方式での太陽光発電設備の導入を進めています。今後も有明エナジー（株）による民間企業・公共施設への導入や、電力の地産地消を推進します。

PPA方式：施設の屋根や敷地を借りて太陽光発電設備を設置し、発電された電力を施設の所有者が購入する仕組み。施設所有者は初期投資不要で太陽光発電設備を設置でき再生可能エネルギーを活用できる。

昨年12月に開業した第一電材（株）



市内
初導入！

取り組み

4

公共施設に
EV充電器を設置

環境にやさしい電気自動車（EV）の普及促進の一環として、本市とEV充電器メーカー「Terra Charge（株）」が連携し、市内公共施設においてテラチャージEV充電器を設置しました。今後も設置可能な施設に導入し、EVが利用しやすい環境づくりを進めます。



◀ 設置施設・充電器の
利用方法などはこちら